



The Livesense Times

リブセシの会

October 2, 2019 (令和元年)

Vol.004

社内初音楽祭開催

企画運営者は新卒社員

9月9日、センタービルで「Live-session-bar Night」というイベントが開催された。音楽祭の名で広く知られるこのイベントの目的は「音楽を自由に楽しむ場」を作ること。このために楽器を演奏してくれる有志が集まり、リブセシスバンドを結成。お酒を嗜みながら音楽を楽しむ

ことができる自由な場を提供した。

「会社は働くだけの場所」という従来の考えに對して、ある種チャレンジングなイベントだったが、企画運営したのは、4月に入社したばかりの結城アンナさんだ。「リブセシスなら、仕事に関係がないイベントでも『やつてごらんよ!』と背中を

やりたい意見を出しても、否定せずにどうやら実現できるかを一緒に考えてくれたり:」結城さんはそう明るく語ってくれた。

イベントに参加した林智宏さんも「すごく楽しめた!」と、当日の様子を振り返る。イベントの感想を聞いた所「お酒を飲みながら、自分の好きな音楽を自由に楽しめたのが本当に新鮮でしたね!」とのこと。結城さんは今度入社の新卒社員。そんな彼女がイチからイベントを生み出すのは大変ではなかつたのだろうか。「企画立案にあたり、優しいオトナ達が力を貸してくれました。楽器演奏に長けた方やフライヤー制作のプロがいたりと、みんながそれぞれの強みを活かしてイベントを良くしてくれようとしたくてくれたのが嬉しかったです。私がこんなことを

できるができる自由な場を控えている。「働くだけじゃない場所」としてのリブセシスを体験できるイベントとして、今後注目が集まりそうだ。

(小松田みなみ)

メンターにも学び

総合職インター実施

夏の総合職インター

ンが終了した。今年は2612名の応募者の中から選考を経て、全二回で40名の学生が参加した。チームにはメンターが2名ずつ付き、3日間で事業部への施策提案を行う。総合職インターでは元に持つてある課題

に向き合い、実データを

事業部で持つてある課題

という、学生の補助で手がかかるばかりの印象

う。提案する施策の色は学生やメンターの趣向によつて異なる。サービス画面の文言変更などの小さな追加を提案するチームなど、毎回意外と提案内容が被らないのが面白い。インターのメンター

があるかもしだれないが、実情はそうでもない。筆者は過去二回メンターと一緒に学べることや、彼らから学ばされることの方

ことは、事業のマネタイズモデルの理解である。ビジネスモデルを図式化し、マネタイズチャネルの洗い出しから、それらが占める割合、各チャネルにおける歩留まりの調査などを行う。普段業務を行なつていると、全体像や現状分析などを行う機会は多くないが、こういった機会に学生と一緒に

お気軽に近くの編集部員または桂(@katsura)までQRコードまたは「ichiman」で検索!

広告を随時募集しています。

お気軽にお近くの編集部員または桂(@katsura)までQRコードまたは「ichiman」で検索!

告知例

何かあったら連絡ください
個展やりま
実家の寿司屋を宣伝します
19卒でムーミン谷に行きましょう!

論説

動指針や、副業推奨、健康増進手当といった方

向性が露骨に示される。しかし忘れてはならないのが、これはやはり支配的である。19世紀の哲学者ミシェル・フーコーが考案出した。古來の権力とは、一言でいえば、禁止する権力であった。国家も工場も学校も、ルールを敷いて個人を支配した。それに対し近代以降に新たな権力形態として表れたのが、政治――生き方を示す権力である。生政治は何かを禁止しない代わりに、理想の生き方を掲げ、倫理を統率しようと目論む。▼最近のIT企業を見ていると、こうした傾向をはつきりと感じ取れる。従業員を縛り付けるルールが削がれる一方で、行

動指針や、副業推奨、健

康増進手当といつた方

向性が露骨に示される。

しかしあれではならぬものも難しい。極論すれば人事評価すらできなくなってしまう。現

めに、人事評価すらできなくなってしまう。現

第三回
自動車の部品カタログなどを見ていると「ヘッドライト用LED(参考取付時間0・5h)」というような記載があり、その時間数に基づいて工賃が決まる。これは部品ごとに手順がマニュアル化され、プロも同じような時間に収まるためだ。

いの機能規模であればこのくらいの時間でできるだろうというような工数見積もりを行う。機能を要素に分割して個別に見積もる、大まかな設計をして見通しを立てる、チームの複数人で見積もあるなども正確性に寄与する。ただ、実際どれくらい開発時間がかかるかは、開発に入つてみないとわからぬ部分が多く、個人差も大きい。重要なのは開発者自身が見積もり、実際開発し、どれくらい見積もり誤差が出たかを振り返り、次の見積もりに活かすことだ。利用するプログラミング言語やフレームワークなど環境にも依存するが、そういういたものを固定してこのサイクルを繰り返すと、当初上振れ、下振れしていくもいずれ誤差は小さくなつていくことしかできず、エンジニアの良心や努力に依存している。

A black and white photograph showing a box of SuperSave Emergency Beverage Water on a shelf. The box is labeled "非常用飲料水" (Emergency Beverage Water), "7年保存水" (7-year storage water), and "おいしい飲水" (Delicious drinking water). It also features a large cross logo and the text "SuperSave" and "Mizu no Deep Sea Water". The box is dated "2026年06月11日 00982". To the right, several more boxes of the same product are stacked on the shelf.

相次ぐ災害 備えの見直しを 「自分は大丈夫」は本当か？

。9月24日現在、千
風15号が首都圏を襲
う一部地域では今な
電や断水が続いてい
リブセンスでは各鉄
道は計画運休を受けて労
り12時までは勤務扱
する全社共有が行わ
事前の対応のお陰か
大きな被害の報告は
つた。ただ災害大国
われる日本において
今後注意するべきは
だけではない。30年
に80%の確率でく
予測されている南海
フ地震や首都直下型
、ゲリラ豪雨といっ
端気象もある。

救急用品を順次備蓄中だ。備蓄品の場所や非常灯の場所は、執務室各所に掲示している防災MAPに明記している。実際に被災地へ行った自衛隊員にも話を聞きに行つた。被害を抑えるためには被災直後だけでなく、3日後、数日後先のことまで予測して必要な備えをすること、「自分は大丈夫だ」という認知バイアスに惑わされず適切な判断を行うことが重要とのことだ。必要な備

えをした上で、被災時に働く認知バイアスを認識し、冷静な判断をすることがレジリエントな防災・減災につながる。

今この瞬間に地震等の災害に見舞われたならどう動くのか。記事を読み終えた後に各々が考えて対策を想像する時間も防災対策の一環となる。予測できない瞬間が訪れた時、身を守る為に本記事が防災の一助となれば幸いである。

うたかた

高畠さんの京都初出社に寝坊して鍵を開けらず早くも単一障害点がつき彌りに・（田中祥太郎）

心を揺さぶる「ゆるやか衝動」を手掛かりに新規業を探索中（佐々木晋哉）

音楽祭を今風に言いたて「Live-session-bar Night」と告知したけど認知は音楽祭に落ち着いたみたい。（結城アンナ）

「広太郎、仕事で大事なのは想像力だよ、SFを読みなよ」尊敬する上司に言われ、それまで読まなかつたSF小説を読み漁つた時期があつた。その際に特に印象深かつたのがフイリップ・K・ディックの『パームリー・エルドリッヂの三つの聖痕』だ。地球環境悪化を受け、火星移民となつた人々は辛い現実の中、ドラッグを使い、「パーキー・パット人形」に意識を移す。そこでは他の人たちと一緒に母なる地球のような、仮想現実の人たちと一緒に母なる

現実から逃れるために、仲間たちと一緒にVRの世界に行き、そこに耽溺していく。空想上のありえない未来だと断言できるだろうか？そして物語内には更に強力なドラッグが登場し、現実と非現実の間が曖昧になり崩れ去っていく。全般に流れる退廃的な空気がリアルで、SF世界の幻想話なのに、急に自分たちの現実とリンクする部分が出てくる。物語の流れ、描写が印象に残った。他の有名なディック作品と比較して評判の分かれる作品ではあるが、想像力観点でもおすすめの一冊。

せたのに、締切延びたと勘違いして結局ギリギリになってしましました。毎週休みなら慣れるんだけどなあ(編)